

絆 大切にしたい言葉



岡田 民雄
おかだ・たみお
【日本ルツボ会長】

本年の「財界賞・経営者賞」贈呈式に参加させていただき有り難く思っている。

この時の村田博文社長と（株）ぐるまびの滝久雄会長のお話の中で「絆」という表現をされ、私は大変感動した。というのは、今私はこの言葉に大きな魅力を感じているからである。

・ 恩師の教えとしての絆

私は昭和二十五年に千葉県成田中学に入学した。担任は今井義武先生で、大学を卒業され教員として最初に受け持ったのが我々のクラスであった。

先生は千葉県内の八つの中学で教鞭をとられ、六十歳で定年退任される時に、教え子、同僚、

友人に自分のことについて思い出など書いて、原稿を送って欲しい旨依頼していた。その先生は平成二十年四月に八十歳で亡くなられた。

柏市の鈴木敏彦さんから、今井先生の所に集まっている原稿で記念誌を作りたい旨の手紙が届いた。私も喜んで協力することにした。鈴木さんも相中学での教え子の一人である。今井先生の清子夫人と鈴木さんが中心となり記念誌『「教育の源流」——今井先生と私たち——』が立派に完成した。執筆者は何と九十六名に及んでいた。

教え子達の文の内容はほとんどが、育てていただいたことへの感謝の気持ちであった。私の文のタイトルは「三ヶ月先生の日の出」であった。先生は顎が尖っていたので成田で付いたこの渾名は生涯付いて廻った。

私は先生が成田で教員としてのスタートをしたのでこのようにした。内容はやはり悪いことをして叱られたこと。また自分

でも特別に印象に残っていることなのだが、お説教で我々を教室に正座させたまま忘れて映画を見に行ってしまう、他の先生から帰ってもよいと言われたことなどであった。この出版を記念して「今井義武先生を偲ぶ会」を平成二十一年十一月八日に海浜幕張のホテルで開催した。私は教え子第一期生ということで実行委員長をし、別々の中学、別々の世代の人達六十二名が集い、今井先生を偲んだ。

今井先生は出会った多くの教え子、同僚、友人と強く結びついてきたからこそ多くの原稿が集まり、偲ぶ会にも五十年以上も昔にお世話になった教え子達が集まったものと思う。私はこれこそが「絆」だと思ふ。今も今井先生は私の心の中には生きておられ絆の大切さを教えられているような気がしている。

・ 祝辞として贈った言葉

社員の結婚披露宴の祝辞で贈った言葉は、「絆」であった。夫婦の絆、家族の絆、同僚との絆、いずれも大切である。新

カップルには、先ず夫婦の強い絆で幸せな家庭を築いて欲しいと願っている。

・ 新年の挨拶として使った絆
基本姿勢として

永遠に存続する会社になりたい社員が安心して働ける会社になりたい

利益の出る会社になりたい
社是として

人に笑顔・仕事に挑戦・社員に安心・社会に貢献・顧客に満足・会社に利益
経営理念として

我が社は創造性豊かな活力に満ちた役員により、伝統を守りつつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指します。これらの経営原点を話すと共に、その年、その年のふさわしいと思える言葉を社員に贈っている。昨年は「忍耐」、その前は「思いやり」というように今年には「絆」にした。私は社員に今年も相当厳しい状況が続くことだろうが、全社一丸となり強い絆で結ばれこのピンチを脱しようではないかと訴えた。